

特別企画

様々な講習会を通して、指導者育成に取り組むクラブ

NPO法人うとスポーツクラブ < 熊本県宇土市 >

活動基盤・活動環境をより充実させ、持続可能な総合型クラブの運営を目指すには、効果的な事業計画を企画・立案できる人材が求められるとともに、常に先を見据え、異業種・異業態も含めた広い視野と多様性を持つ人材の育成・確保をしていくことが重要です。

そこで今回は、人材育成に取り組むクラブについてご紹介します。

1 クラブ概要

48教室を開催

設立： 平成13年4月1日

種目会員数：787名（11月1日現在）正会員数：42名

開催教室： ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、ソフトバレーボール、サッカー、フットサル、ソフトボール、テニス、ソフトテニス、バドミントン、バウンドテニス、卓球、陸上、アーチェリー、グラウンドゴルフ、ボウリング、柔道、相撲、テコンドー、社交ダンス、チアダンス、フラダンス、エアロビクス、3B体操、健康太極拳、トランポリン、健康増進サークル、ボール遊び教室など48種目

指導者数： 約100名

3事業を推進

NPO法人うとスポーツクラブは、スポーツ教室部、施設管理部（指定管理者）、イベント企画部の3つの事業を行っています。スポーツ教室は、サークル（楽しむ）、教室（学ぶ）、アカデミー（有資格によるハイレベル指導）、チーム（小中学校部活動の社会体育化への対応）など4つのカテゴリーに区分され、それぞれのニーズに合わせたプログラムで実施しています。



ecowin宇土アリーナ（宇土市民体育館）内のクラブ事務所には、スポーツ教室の事務局担当者1名とゼネラルクラブマネジャー、サブマネジャー兼施設管理部長が中心となって業務を行っています。

スポーツ指導現場（中学生）

2 取り組みの内容

【スポーツ指導者育成】

多数の各種「指導者講習会」を実施

当クラブの指導者は約100名にのぼります。元々、市内で活動していた各クラブやサークルが、合流して当クラブが結成された経緯があります。その当初の指導者たちが、新旧入れ替わりながら今に至っています。設立当初から人材の重要性を認識しており、年数回の“指導者講習会”を実施してきました。クラブ単独主催の場合は、クラブ内指導者と会員が対象です。市との共同開催時は、外部の指導者も対象となり、クラブ外指導者への広報は市が行っています。

以下は、これまで行った講習会の一部です。おおよそですが、各講習会には20～30人が参加しております。

- 救急法講習会
- 熱中症予防
- テーピング講座
- ストレッチ/体幹トレーニング
- 理学療法士が話すスポーツ指導者に知ってほしいスポーツ整形リハビリテーションの話
- 指導者として知っておきたい栄養講座
- メタボリックシンドロームの概念と予防および対策方法
- スポーツクラブにおける指導者
- スポーツの現場から指導のポイントについて
- 初級・中級・上級者への指導の考え方
- リーダーシップ研修
- 指導者同士のグループディスカッション
- 指導におけるリスクマネジメント
- スポーツ指導者のためのガイドライン
- ジュニアの育成と指導の仕方について
- メンタルトレーニング
- オリンピック出場・私のスポーツ人生



指導者講習会(オンライン)



救急救命講習会

主に外部講師を招き講習会を実施

外部の講師をお招きするケースが一番多いですが、時には筆者(当時スポーツ教室部長)も登壇しました。令和3年からは、クラブと宇土市教育委員会、宇土市体育協会との共催にてスポーツ指導者研修会を実施しております。平成30年からは、内容が充実している熊本県地域スポーツ指導者講習会へも積極的に参加しております。過去の種目ごとの会員数の増減を見てみると、その種目の指導者による影響も大きいと考えており、継続的な育成の必要性を再認識しています。

また、特に小中学生期の子どもたちへの過度な指導による不祥事や事件がマスコミでも取り上げられている現状を踏まえ、ジュニア期のスポーツ指導についてはリスクマネジメントの観点からも十分に気をつけて指導者育成を行っていかねばならないと考えています。

【イベント企画】

参加者と運営スタッフが共に楽しめるイベントー継続の秘訣

イベントの企画に関しては、主に正会員から成るイベント企画部で計画・立案から実施までを行っています。日頃は様々な職業をお持ちの方々が集まり、その得意分野やスキルを生かし、様々なアイデアや意見を持ち寄ってイベントをつくり上げています。また実施にあたっては宇土市スポーツ推進委員の方々のお力もお借りしています。

毎年行っている恒例イベントとしては、“宇土市民健康スポーツフェスタ”(スポーツ体験教室)や“わくわくスポーツDay”室内運動会や史跡散策(ウオークラリー)があります。

参加者だけでなく、イベント企画部員やスポーツ推進委員、その他運営スタッフ全員も楽しめるイベントにすることが、継続して実施していける秘訣と考えています。



イベント前のスタッフ打合せ
(わくわくスポーツDay)

【事務局/職員】

積極的に公式LINE等の新ツールを導入

事務作業の効率化を促進するために、積極的に新しいツールの導入を行っています。活動プログラムのオンライン化、公式LINEの導入、Formsアンケート、新経理システム、イラストレーターなどです。職員の中にはそれぞれの得意分野があり、それらを生かす形で積極的に活用・導入しています。

3

取り組みの効果

【スポーツ指導者育成】

講習会がクラブ方針を伝える機会に

種目によっては各協会（中央競技団体）主催の講習会などもありますが、そうでない種目では、クラブが主催する講習会の内容が新しい情報として活用いただけているのではないかと思います。また、クラブが主催する指導者講習会はクラブ側の方針や指導に対する考え方をお伝えする良い機会にもなっています。

内容のマンネリ化避けるため、幅広い分野から講師を招へい

ただ、当クラブの種目数は非常に多く、多世代かつ多種多様であることから、実施コンテンツに興味がない場合は参加されないケースも少なくありません。また、当初の講習会の内容は毎年同様となっておりましたが、近年はマンネリ化を避けるため各方面から幅広い分野の講師をお招きしてきました。今後の課題としては、指導者のニーズをヒアリングなどで確認し、コンテンツに反映していくこと、また、ポイント制などの体系的な講習会の仕組みづくりを行い、講習会への参加モチベーションを上げたいと考えています。

特に今後行われる中学校部活動の社会体育化への対応として、指導者育成は非常に重要です。教育委員会や学校側と情報交換を密にし、必要な対応をとっていきます。

【イベント企画】

イベント実施で人材発掘の必要性を再認識

今年もイベント企画部長の強いリーダーシップのもと、定期的な打ち合わせを行いながらイベントを継続実施しています。ただ、イベント実施には多数の人員が必要です。今後も今と同じように人材リソースを確保できるとは限りません。モチベーション高く積極的に参画していただける人材を多数確保するためにも、クラブ内外問わず、日頃より人材の発掘に感度を上げておく必要があります。また、参画した人の満足感や達成感を得ることができるよう予算や支援をすることが必要と考えています。

【事務局/職員】

大きな成果生まれた公式LINEでの情報共有

特に公式LINEを使った情報共有は大きな成果を挙げており、今後は宣伝やPRなどに積極的に活用していきたいです。また、Formsアンケートなどのツールも便利さゆえに業務改善に大きく寄与し始めています。そういった各種ツールを扱えるスタッフをもっと増やしていきたいと考えております。

4

会員数の回復が喫緊の課題

クラブも設立から20年が経ち、また、少子化やコロナ禍も相まって会員数は減少傾向です。会員数の回復は喫緊の課題です。そのためにも、どこにフォーカスして取り組んでいくかが重要になりますが、まずは、コロナ後の経済活動・スポーツ活動の急激な回復を見越し、種目やイベントのリニューアルや準備、PRのタイミングを逃さず行います。

学校部活動の地域移行を見据え、行政・学校と連携を

次に、今後行われる学校部活動の社会体育化への対応です。これに向け、まずは指導者の確保を行い、指導者育成については行政や学校と連携しながら行っていきます。また、SNSや新しいツールを積極的に導入し、広報宣伝活動に生かしていくためにも、勉強会などを通じ、ツールを扱える人材を増やしていきたいと考えています。

(NPO法人うとスポーツクラブ 理事長 岩永 孝博)

クラブプロフィール

設立年月日 平成13年4月1日(平成16年11月22日法人登記)

所在地 熊本県宇土市

運営 会員数787名(令和4年11月現在)、予算規模約6,000万円(令和4年度)

特徴

- サークル(楽しむ)、教室(学ぶ)、アカデミー(有資格によるハイレベル指導)、チーム(小中学校部活動の社会体育化への対応)など4つのカテゴリーで合計約50種目のスポーツ教室が活動中
- 体育館、武道館、グラウンド、テニスコート、プール、キャンプ場などの社会体育施設を指定管理者として受託・運営
- 市内小中学校のグラウンドや体育館の貸し出し管理も行っている
- イベント事業としてスポーツ大会やスポーツフェスタなども企画・実施

連絡先

〒869-0432 熊本県宇土市旭町504 ecowin宇土アリーナ
TEL 0964-23-3493 FAX 0964-23-5148
URL <https://uto-sc.jp/>
E-Mail info@uto-sc.jp

